

山野井たかし後援会だより

No.42

後援会連絡所	〒323-0807 小山市城東3-14-5 0285-20-5000	発行責任者	津布久 正夫
ホームページ	http://homepage3.nifty.com/yamanoi-takashi/	編集者	山野井 孝
メールアドレス	yamanoi.takashi@tvoyama.ne.jp	発行日	2013年8月1日

日頃からの皆様のご支援に、心より感謝申し上げます。
子どもから高齢者までが安心して暮らせる小山市を目指して
取組んでまいりますので、これからも変わらぬご支援をよろしくお願
いいたします。

平成25年第2回臨時会が4月1日に、第3回臨時会が4月
9日にそれぞれ開催されました。

また、平成25年第4回定例会が6月5日から27日の日程で
開催されました。



議員在職10年表彰を受賞

【平成25年第2回臨時会について】

＜地方独立行政法人新小山市市民病院中期計画の認可について＞

平成25年4月1日の『地方独立行政法人新小山市市民病院』の発足に伴い、同法人が定める中期
計画が示され、即日採決で可決されました。

同法人は、小山市市民病院の慢性的な赤字経営を打開するために設立されたもので、病院が今後も
継続できるかを左右する役割を担っています。法人の理事長に就任した『島田理事長・病院長』の手腕
に期待するところです。

中期計画では、医師・看護師を十分に確保した上で、今後4年間で黒字化を目指すとしています。
特に昨年まで休診状態であった『産婦人科』『脳外科』『眼科』の再開が急務であり、同科の医師確保
に全力を投じていただくことを要望していきます。

【平成25年第3回臨時会について】

＜平成25年度小山市一般会計補正予算（第1号）＞

平成17年より、宮城県(株)県南衛生工業と争っている小山広域保健衛生事務組合の訴訟事件に
ついて、仙台地方裁判所より同事務組合に対して47億円の支払い命令が出されたため、同事務組合を
構成する2市2町において同事務組合への負担金を拠出するための補正予算が上程されました。

同事務組合では、裁判が始まった平成17年度より余剰金を構成市町に返金せず、基金としてプール
しており、その額は約25億円となっています。今回の補正予算では、支払命令の出た47億円から基金の
25億円を差し引いた約22億円を各構成市町が負担割合に応じて計上したもので、小山市の負担割合
は72.665%でその金額は約14億円となりました。

小山市では4月9日に臨時議会を招集し、補正予算についての審査を行いました。市民一人あたり
約2万円の負担をお願いしなければならない状況について、執行部からの申し訳ないという意思表示がなく
説明も不十分であることから、議案に反対する決断をしました。

【平成25年第4回定例会について】

＜小山市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について＞

＜小山市議会政務活動費の交付に関する条例の制定について＞

市の財政状況の悪化に伴い、平成23年4月1日から2年間議員報酬を5%カットしてきましたが、今
年の3月31日をもって期限が切れることから、継続して平成25年4月1日からの2年間、同様の削減を
行うことを議員提案によって定例会初日に提出し、即日可決しました。

また、同様に平成23・24年度の2年間にわたり、議員が政務調査に使用できる政務調査費を80万
円から50万円に減額してきましたが、期限が切れることから2年間継続して年間30万円を削減し、50万
円とすることにし、さらに、地方自治法の改正により、政務調査費が政務活動費に名称変更になったこと
から、『小山市議会政務活動費の交付に関する条例』を制定しました。

今後も、議員の役割をしっかりと果たすことで、市民に認められる議会・議員をめざしていきます。

【トピックス】

＜第2回議会報告会の開催について＞

5月20～22日の3日間にわたり、市内6か所で第2回市議会報告会を開催しました。

私は第2班で、絹公民館と豊田公民館での報告会を担当しました。

今回の議題は、平成25年度一般会計予算、小山市国民健康保険税条例の一部改正について、小山市水道事業給水条例の一部改正について、地方独立行政法人新小山市市民病院中期計画の認可について、平成25年度小山市一般会計補正予算(第1号)などでした。

参加した市民の皆さんからは多くの意見をいただきました。特に、小山広域の焼却灰の訴訟問題については、執行部から市民の皆さんに対して、一人あたり約2万円の負担を求めることの十分な説明や謝罪の言葉がないこと、今後の再発防止に向けた取り組みが明確でないことなどが出されました。

今後も、年2回を目安に報告会を開催していく予定となっていますので、今回の市民の皆さんからの意見を参考にしながら、執行部とは違った市議会としての報告会が開催できるように検討していきます。

＜自転車運転パスポートの発行＞

自転車での危険な運転をする中学生・高校生を良く見かけます。

傘さし運転や二人乗り、携帯電話を見ながらの運転など、危険な行為をしているという認識がまるでありません。

そのような行為をさせないために、平成24年6月議会において、子どもたちを交通事故から守るため、交通安全教育を実施した上で、『自転車運転免許証』を発行することを提案しました。

そして今年、市内小中学校において交通安全講習会を開催し、受講した子どもに『自転車運転パスポート』を発行することになりました。

今後は、順次、市内の小中学校において交通安全講習会等を開催し、パスポートを発行していくとのことです。



＜城山町3丁目第1地区市街地再開発ビルが完成＞

小山駅西口周辺の人口減少に歯止めをかけるため、定住化を目的とした市街地再開発ビルの整備を進めてきましたが、4月1日のオープンを前に3月31日にオープニングセレモニーが行われました。

2階には公共施設として、『子育て支援総合センター』と『まちなか交流センター』が併設され、中には保育園も整備されました。

1階には地域に皆さんが利用できる商業施設（ミニスーパー）の出店を計画していると議会で説明していましたが、出店する業者が見つからず、衣料関係の店舗になるようです。

いずれにしても、小山駅西口周辺の活性化を目的に、市有地を核として行った事業ですので失敗は許されません。

【議会人事について】

6月27日、議会最終日の本会議終了後に議長が辞任し、新たな議会人事の選考が始まりました。

毎回、議長選を中心にさまざまな駆け引きが行われるなど、議会人事はスムーズには決定しません。

今回の議長・副議長・監査員については、自民党・公明党が事前の会合を持つなどして、全てのポストを自分たちが独占することで話し合ったようでした。結果的には、議長は選挙を行わず、指名推薦で大山典男議員に決定し、副議長は選挙の結果、生井貞夫議員に決定しました。監査員については、現職の青木美智子議員が辞任せず、継続することになりました。結局、予定の1日では決まらず、翌日まで日程を延長しての決定に、さすがに疲れしました。以下に山野井たかしの新たな役職をお知らせします。

・総務常任委員会

・工業振興懇話会

・交通指導員配置検討委員会

・栃木県南地方公設卸売市場事務組合議会

・決算審査特別委員会 委員長

・教育施設整備調査委員会 委員長